

公衆衛生医師が保有する臨床系専門医資格

武智浩之1), 大原 幸2), 廣瀬浩美3), 高橋千香4), 西垣明子5), 上原里程6), 城所敏英7), 人見嘉哲8), 山本長史2), 宇田英典9)

1) 群馬県安中保健福祉事務所(兼)吾妻保健福祉事務所 2) 北海道保健福祉部 3) 愛媛県宇和島保健所 4) 東京都北区保健所 5) 長野県伊那保健所(兼)木曾保健所 6) 栃木県宇都宮市保健所 7) 東京都島しょ保健所 8) 北海道倶知安保健所(兼)北海道岩内保健所 9) 鹿児島地域振興局保健福祉環境部(兼)伊集院保健所

【目的】日本専門医機構が認定する新たな専門医制度の導入は、公衆衛生医師の確保・育成に影響すると考えられている。

そこで、公衆衛生医師の保持する臨床系専門医資格、更新の希望、前職歴等との関係について自記式質問紙調査を実施した。

【方法】保健所を設置する全国142の自治体および公衆衛生医師として勤務する753名を対象とした。

集計・統計解析には Python 3.4.3とR 3.2.2の関連パッケージを用いた。

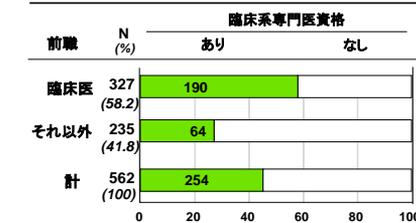
【結果】回答率は自治体71.1%(101/142)、公衆衛生医師75.8%(571/753)で、

前職歴は臨床医57.3%、臨床研修医16.5%、研究教育機関勤務11.6%、医学生8.2%であった。

回答者背景

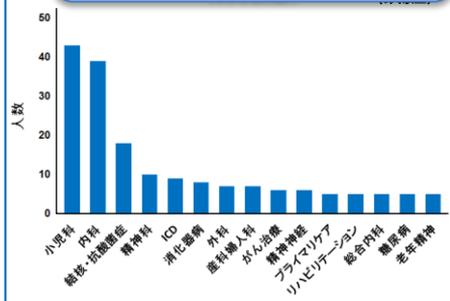
	2014		2015		chi2	P
	人数	(%)	人数	(%)		
回答数	458		571			
性別	女性	139	30.3	195	34.2	1.51 0.220
年齢構成	～30歳代	61	13.3	68	11.9	9.03 0.029 *
	40歳代	103	22.5	149	26.1	
	50歳代	211	46.1	219	38.4	
	60歳以上	83	18.1	135	23.6	
自治体	都道府県型	277	60.5	372	65.1	18.9 0.000 **
	特別区	75	16.4	44	7.7	
	それ以外	106	23.1	154	27.0	
保健所長	225	49.1	290	50.8	0.22 0.640	
職階	部・局・次長級	174	40.2	235	41.2	1.37 0.505
	課長級	192	44.3	235	41.2	
	課長補佐～	67	15.5	101	17.7	
行政経験年数	～10年未満	172	37.6	232	40.8	1.93 0.380
	10～20年未満	122	26.6	156	27.4	
	20年以上	164	35.8	181	31.8	
職場の医師数	1人	210	45.9	285	49.9	6.30 0.178
前職	医学生	49	10.7	47	8.2	9.37 0.052 *
	臨床研修医	49	10.7	66	11.6	
	臨床医	232	50.7	327	57.3	
	研究	105	22.9	94	16.5	
満足度	満足～やや満足	270	59.0	409	71.6	14.5 0.000 **
仕事の継続	続けたい	351	76.6	457	80.0	8.28 0.016 *
	転職したい	82	17.9	69	12.1	
	判断できない	20	4.4	37	6.5	

臨床系専門医資格の有無



- 臨床系専門医資格を持つ公衆衛生医師の割合は45.2%(254/562人)であった。
- 前職が臨床医かそれ以外かによって資格の有無に有意差を認めた。

公衆衛生医師が持つ専門医資格 (5人以上)



小児科・内科の専門医資格をもつ公衆衛生医師が多かった。

専門医資格更新の意向

お持ちの専門医資格数	更新を希望する専門医資格数						総計
	0	1	2	3	4	>5	
1	16	119	5	2			142
2	7	7	46	4	1	*	65
3	2	3	5	16			26
4				3	8		11
>5						10	10
総計	25	129	56	25	9	10	254

* 産業界、スポーツ医、公衆衛生専門家の更新希望を含むため。

全ての資格更新を考えている公衆衛生医師は、77.1%(199人)であった。

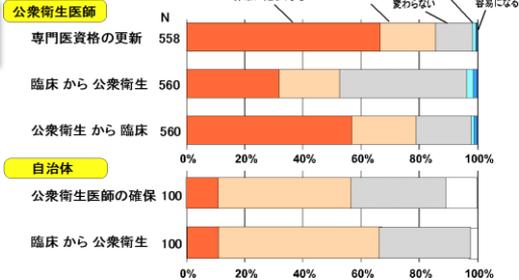
新たな専門医制度への関心

	新専門医制度(臨床系)への関心				All	chi2	P
	あった	人数	(%)	なかった			
回答数	312	54.6	256	44.8	571		
性別	女性	105	33.7	89	34.8	194	0.0 0.850
年齢構成	～30歳代	38	12.2	30	11.7	68	0.8 0.849
	40歳代	85	27.2	63	24.6	148	
	50歳代	119	38.1	99	38.7	218	
	60歳以上	70	22.4	64	25.0	134	
自治体	都道府県型	214	68.6	157	61.3	371	4.3 0.119
	特別区	79	25.3	74	28.9	153	
	それ以外	19	6.1	25	9.8	44	
保健所長	151	48.4	139	54.3	290	1.7 0.188	
職階	部・局・次長級	128	41.0	104	40.6	232	0.0 0.982
	課長級	128	41.0	107	41.8	235	
	課長補佐～	56	17.9	45	17.6	101	
職場の医師数	1人	152	48.7	132	51.6	284	0.3 0.555
前職	臨床医	186	59.6	140	54.7	326	2.3 0.321
	臨床研修医	37	11.9	29	11.3	66	
	その他	84	26.9	84	32.8	168	
	資格あり	174	55.8	82	32.0	256	31.1 0.000 **
行政経験年数	<10年	126	40.5	105	41.2	232	10.7 0.005 **
以前の職歴	<5年	101	32.5	55	21.6	156	
	5～15年	84	27.0	95	37.3	181	
	>15年	108	34.7	64	25.1	174	
転職希望	今ある	29	9.4	18	7.1	47	8.6 0.035 *
ときどき	131	42.7	91	35.8	223		
以前あった	54	17.6	38	15.0	92		
ない	93	30.3	107	42.1	201		
公衆衛生医師の資格更新ハードル	高くなる	273	88.6	203	81.9	478	4.6 0.032 *
不変～低下	35	11.4	45	18.1	80		
臨床医から公衆衛生医師へ	高くなる	178	57.8	116	46.4	295	6.7 0.009 **
不変～低下	130	42.2	134	53.6	265		
公衆衛生医師から臨床医へ	高くなる	252	81.8	188	75.2	442	3.2 0.072 +
不変～低下	56	18.2	62	24.8	118		
社会医学系専門医(仮称)の取得意思	知っていた	242	78.6	168	65.9	412	10.7 0.001 **
知らなかった	66	21.4	87	34.1	153		
あり	162	52.8	83	32.9	246	23.3 0.000 **	
どちらとも	102	33.2	109	43.3	212		
なし	43	14.0	60	23.8	103		

- 関心が高い公衆衛生医師は、臨床と公衆衛生の人的交流に危機感を持っていた。
- 関心が高い公衆衛生医師は、社会医学系専門医に関心がありかつ取得意思があった。

新たな専門医制度の導入による影響のとりえ

公衆衛生医師のほうが自治体担当者よりも新たな専門医制度の影響を大きくとらえていた。



前職年数と行政経験年数別にみた「前職が臨床医師」率

前職年数	行政経験年数							All
	<5	5～10	10～15	15～20	20～25	25～30	>30	
<5	66.7 (2/2)	72.5 (15/20)	16.7 (3/18)	36.9 (4/11)	4.8 (1/21)	25.9 (3/12)	18.8 (2/11)	61.1 (57/93)
5～10	63.3 (20/32)	41.2 (15/37)	65.2 (25/38)	61.8 (64/104)	59.2 (59/100)	64.3 (132/205)	61.9 (27/44)	61.8 (618/1000)
10～15	58.3 (15/26)	66.7 (22/33)	68.4 (22/32)	66.4 (22/33)	66.7 (22/33)	74.3 (22/30)	74.3 (22/30)	66.4 (22/33)
15～20	67.5 (14/21)	57.1 (8/14)	70.0 (14/20)	60.9 (12/20)	68.5 (14/20)	65.5 (13/20)	76.1 (15/20)	68.5 (13/20)
20～25	79.2 (15/19)	70.0 (14/20)	78.3 (15/19)	76.1 (15/19)	76.1 (15/19)	76.1 (15/19)	76.1 (15/19)	76.1 (15/19)
25～30	61.1 (11/18)	70.0 (14/20)	65.8 (11/17)	65.8 (11/17)	65.8 (11/17)	65.8 (11/17)	65.8 (11/17)	65.8 (11/17)
>30	71.4 (15/21)	71.4 (15/21)	71.4 (15/21)	71.4 (15/21)	71.4 (15/21)	71.4 (15/21)	71.4 (15/21)	71.4 (15/21)
All	72.8 (69/95)	60.8 (60/99)	67.5 (66/98)	68.6 (68/99)	58.1 (58/100)	64.4 (64/100)	25.0 (25/100)	67.5 (67/100)

特記すべきは前職の通算年数が10～15年の公衆衛生医師は行政経験を20年以上経験しているものが多かった(91.7%)ことである。

前職年数と行政経験年数別にみた専門医資格保有率

前職年数	行政経験年数							All
	<5	5～10	10～15	15～20	20～25	25～30	>30	
<5	33.3 (1/3)	25.0 (5/20)	33.3 (6/18)	6.9 (1/15)	19.0 (2/11)	14.3 (2/14)	16.5 (2/12)	33.3 (25/75)
5～10	33.3 (11/33)	41.2 (15/37)	30.4 (12/39)	25.0 (25/100)	33.3 (33/100)	31.0 (31/100)	32.0 (32/100)	33.3 (33/100)
10～15	63.0 (15/24)	56.0 (11/20)	63.6 (22/35)	42.1 (42/100)	41.7 (41/100)	41.7 (41/100)	41.7 (41/100)	63.0 (15/24)
15～20	81.3 (15/18)	64.3 (14/22)	70.0 (14/20)	69.6 (14/20)	69.6 (14/20)	69.6 (14/20)	69.6 (14/20)	81.3 (15/18)
20～25	63.3 (12/19)	40.0 (8/20)	60.9 (12/20)	60.9 (12/20)	60.9 (12/20)	60.9 (12/20)	60.9 (12/20)	63.3 (12/19)
25～30	66.7 (15/22)	70.0 (14/20)	76.1 (15/20)	76.1 (15/20)	76.1 (15/20)	76.1 (15/20)	76.1 (15/20)	66.7 (15/22)
>30	61.0 (12/20)	61.0 (12/20)	61.0 (12/20)	61.0 (12/20)	61.0 (12/20)	61.0 (12/20)	61.0 (12/20)	61.0 (12/20)
All	66.2 (66/132)	51.5 (51/99)	53.0 (53/100)	44.4 (44/100)	27.8 (27/100)	27.0 (27/100)	14.3 (14/100)	45.2 (45/100)

前職の通算年数、行政経験年数に関係なく、多くの公衆衛生医師は専門医資格の更新を希望していた。

【結論】臨床と公衆衛生の人的交流に資するよう、一定期間臨床を離れる公衆衛生医師の資格維持への配慮や社会医学系の専門医制度の創設を急ぐ必要があることが示唆された。

本調査は平成27年度地域保健総合推進事業(全国保健所長会推薦事業)「公衆衛生医師の確保・人材育成に関する調査及び実践活動」の一環として行いました。演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある企業などはありません。